

協働事業に関する提案書

令和 3年4月15日

(宛先)狭山市長

団体名 新狭山北口商店会

所在地

代表者名 会長 田口 博章

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業 行政提案型協働事業
2 事業名	シンサヤマミュージーラル事業
3 事業期間	令和 3年 4月 20日から令和 4年 2月 28日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	400,000円
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	新狭山北口商店街内の空き家、店舗のシャッターにアートを描く。デザインの決定や描画に市民が関わって、まちづくりを実践する当事者となることで、地域に対する愛着を醸成する。 地域住民とアーティストが協力してイベントを実施し、地域住民が中心なり、事業を行うことを目的としている。
7 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書（様式第2号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書（様式第3号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール（様式第4号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書（様式第5号）



協働事業に関する企画書

団体名 新狭山北口商店会

1 事業名	シンサヤマミュージーラル事業
2 事業の詳細	新狭山北口商店街内の空き家、店舗のシャッターや壁にアートを描く。地域住民、商店主、通学経路になっている学生、シンサヤママーケット関係者等がまちづくりの当事者として事業に参加することで、地域に対する愛着を醸成する。特にアーティストと不動産オーナーや店主で、描く内容を決定するためのディスカッションを十分に行ってイメージを共有することで、地域に住む人が実現したい街並みを創る。年間2件実施予定で、描画の行程においてはライブアートイベントとして、描画や事業PRに市民が参加する。
3 実施体制	(商店主・不動産オーナー) アーティストと描く内容のイメージを決定する (地域住民・学生等) 描画に(シャッター清掃や下塗り等)適宜参加する (アーティスト) 可能な限り狭山に縁のある方を招聘する
4 役割分担	【提案団体の役割】 ・絵を描く場所の提供 ・アーティストと描く内容の決定 ・広報活動(SNSでの情報発信等) ・西武文理大学や自治会へ事業参加を呼びかけ 【市の役割】 ・アーティストの招聘 ・広報活動(広報誌への掲載・SNSでの情報発信等)
5 協働の効果	・商店街内の不動産オーナーがまちづくりに直接関わるという当事者意識の醸成 ・新狭山北口商店街＝「何か新しいことにチャレンジできる」というブランドイメージの確立
6 事業のアピールポイント	・令和2年12月にシンサヤマミュージーラル第一号案件を田口酒店のシャッターで実施。通学経路となっている、西武文理中、高、大学の学生が頻繁に足を止めて写真撮影などを行っている。 ・情報発信用のSNS(Facebook、Instagram)は延べ600人以上のフォロワーが既に付いており、事業の情報拡散をスムーズに行うことができる。 ・シンサヤママーケットやすかいロード祭り等地域の独自事業における収益を、まちづくりに対する活動原資とすることで、令和4年度以降の自走化の仕組み構築を目指す。